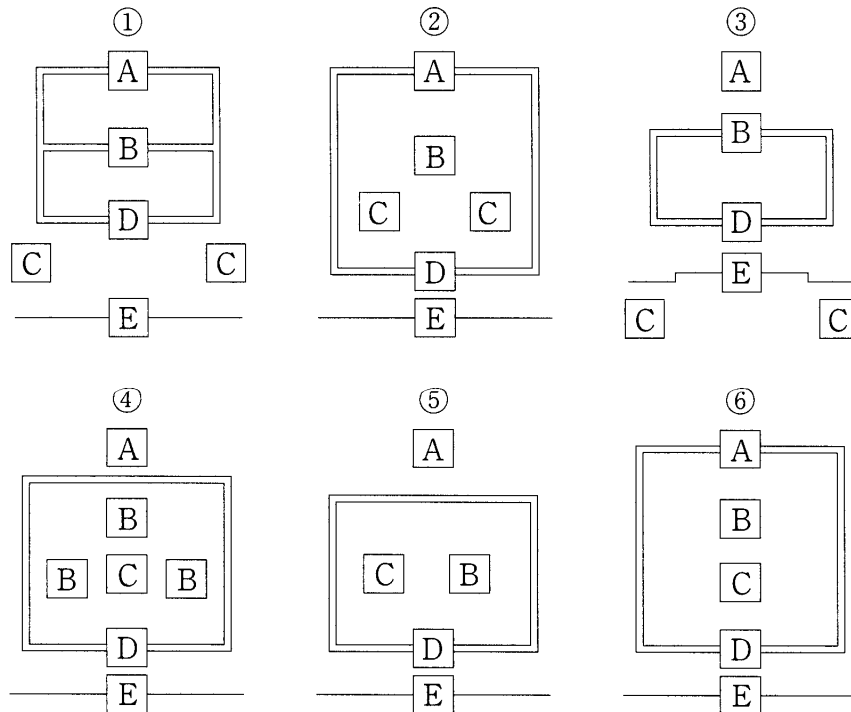


【問】 2002 年 獨協大学 経済, 法

次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。



寺院建築には本尊を安置する金堂、釈迦の骨である舎利をまつる塔、仏法を講ずる講堂、経を納める経蔵、時を告げるための鐘楼、僧の止住する僧房などがあり、また多くの僧の生活を支え、寺院機能を保つための建物があった。このうち、金堂、塔、講堂などは、とくに重要な建物であり、寺の景観の中心を形成する建物である。これらの配置の特徴は時代によって、また大陸、朝鮮半島からの影響によって異なる。前の図は、寺院の特徴的な伽藍配置をあらわしたものである。

飛鳥寺式是最古の伽藍配置様式で 1 を指し、高句麗の清岩里廃寺と同様である。また、2 の四天王寺式は、百済や新羅の遺跡にその類例が見られるため、大陸から朝鮮半島を経てわが国へ輸入されたものと考えられる。これに対して、3 の法隆寺式は、大陸や半島にその類例がなく、わが国独自に発達したものと考えられる。法隆寺式で図中の 4 にあたる塔と、金堂の位置が逆転したものが、5 式である。時代が降るにつれ、もともと寺院の中心をなすべき建物であった塔は、その意義を次第に失って、装飾的な性格を強め、かわって金堂が寺院の中心になった。

問1 空欄1, 2, 3について, 正しいものを選びなさい。

ア. ①

イ. ②

ウ. ③

エ. ④

オ. ⑤

カ. ⑥

問2 空欄4について, 正しいものを選びなさい。

ア. A

イ. B

ウ. C

エ. D

オ. E

問3 空欄5について, 正しいものを選びなさい。

ア. 広隆寺

イ. 法起寺

ウ. 薬師寺

エ. 東大寺

オ. 大安寺

【解答】

問1 1 エ 2 カ 3 才

問2 ウ

問3 イ